

# ありば

VOL. **45**  
2023

「バリア」の逆は「ありば」。  
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。  
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。  
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。



障害者の芸術文化作品の展覧会「ハートピアアートマルシェ 2022」の様子 (会場:ハートピアかごしま)

## CONTENTS

**[特集]**  
特別全国障害者スポーツ大会  
「燃ゆる感動かごしま大会」  
～熱い鼓動風は南から～  
鹿児島初開催!

PAGE **1**

ありばヒューマンドキュメント  
小山 義方さん

PAGE **3**

ありば通信  
社会福祉法人 清流苑

PAGE **4**

ハードルを越えて  
竹下 明希さん

PAGE **5**

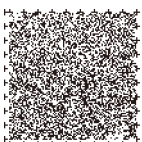
バリアフリー最前線  
SHIROYAMA HOTEL kagoshima  
心の輪を広げる障害者理解促進事業

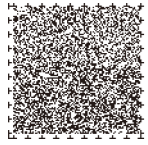
PAGE **6**

鹿児島県からのお知らせ

- ・世界自閉症啓発デー
- ・身体障害者補助犬
- ・ヘルプマーク・ヘルプカード
- ・鹿児島県身障者用駐車場利用証制度

PAGE **7**





# 大会を支える情報支援ボランティアに注目!

## 情報支援ボランティアとは?

聴覚障害者(ろう者・難聴者)に対して、手話通訳や筆談などで、情報支援を行うボランティアです。

### 情報支援ボランティア(手話通訳)の福島健三さんにお聞きしました!

#### Q ボランティアとして参加しようと思った理由は?

A ろう者の自分にできることは何かと考えたとき、自分と同じ言語(手話)をもつ選手のサポートができるのではないかと思ったためです。



福島健三さん

#### Q 情報支援ボランティア活動の魅力は?

A 聴覚障害者に情報提供を行いながら、全国から来られる選手・監督・コーチ、応援に来られた方々と直接交流できることです。

#### Q 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に向けて

A 51年前の、太陽国体よりも盛大な国体・大会になること間違いなし! この国体・大会をとおして、鹿児島県の歴史に新しい1ページを作りたいと思います。一生懸命頑張ります!! 参加される皆さまも一緒に楽しくキバイヤンセ! チェストー!!

## かごしま大会を目指す選手を応援しよう!



第17回鹿児島県障害者スポーツ大会  
個人競技  
5/21

特別全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会  
団体競技  
5/20・21  
6/3・4



ボッチャ

詳しくはこちらをチェック



フライングディスク



特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」全14競技の予選会が鹿児島で開催されます!

「燃ゆる感動かごしま大会」出場を目指す選手の皆さんに熱いご声援をお願いします!



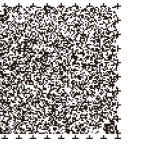
お問い合わせ先

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局  
(鹿児島県国体・全国障害者スポーツ大会局全国障害者スポーツ大会課)  
TEL: 099-286-2903

# 燃ゆる感動かごしま大会 特集

特別全国障害者スポーツ大会  
Special National Sports Festival for People with an Impairment

熱い鼓動 風は南から  
鹿児島 初開催!



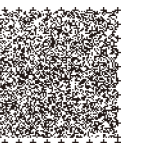
## 競技会場MAP

個人種目  
団体種目  
オープン競技

身: 身体障害者が出場できる競技  
知: 知的障害者が出場できる競技  
精: 精神障害者が出場できる競技



正式競技 14 競技  
オープン競技 3 競技  
開催されるよ!

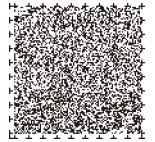




ご自身では劣等生だったという小山さん。「ここまでこられたのは、両親をはじめ恩師や多くの方々の支援のおかげです。今度は私が後輩たちに還元していく番だと思っています。」

# ありが

# バ ヒューマン ドキュメント



NPO 法人光の会 理事長

## 【小山 義方】さん

壁を乗り越える力

『NPO法人光の会』理事長の小山さんは、生後2ヶ月の頃に目の異常を感じ、先天性緑内障の診断を受けました。「11歳の春までは色がわかる程度に見えていたんですが、学校での休み時間に周りが真っ赤になり、完全に失明しました。今でもその時のことは覚えていません。」

ラジオを聴くことが好きだったという小山さんは、流れてくる外国の言葉に興味を持ち、英語教師を志しました。当時、点字の問題集はないため、勉強方法も試行錯誤だったそうです。「通常の問題集を点字に直し、両親と答え合わせをするというのを繰り返し、いつ寝て起きたのかわからない生活でした。」勉強以外でも、引っ込み思案な小山さんが教師になるのは難しいのではと両親や先生方は考えていたそうです。ですが、予備校で大きな変化がありました。「予備校では待つてはいるだけでは誰も寄ってきてはくれませんが、本当に勇気がいりました。先生に話しかけたことでなにかが吹っ切れ、いつの間にかクラスメイトとも打ち解けることができ

ました。」社会福祉学科に進学し卒業後、夢の英語教師の免許を取得。12年間、母校の鹿児島盲学校に勤務しました。「障害を持つ仲間として様々な相談を受けたりもし、生徒のおかげで素晴らしい教員生活を過ごせました。」

英語教師から、福祉活動の道へ

「生徒からの相談で多かったのは、進路の不安です。そこで視覚障害者のために施設を作りたいという次の夢が芽生え、福祉活動への転職を決めました。一周回の反対を押し切り教員を退職し、法人設立の勉強を始めました。そしてNPO法人光の会は、2017年に障害者の就労・生活の支援、社会貢献事業、啓発活動の3つの柱で活動を開始。「立ち上げ後も、課題をより深く学ぶため、県視覚障害者団体連合会の会長なども務め、全国を回り研修会に参加したり、現地の視覚障害者と交流を深めたりしました。この6年間の活動は貴重な時間となりました。」

小山さんは幼少の頃からバイオリンを習い、音楽の素晴らしさに

めり込みました。小学校では、担任の先生からアコーディオンを習い、教職に就いた時の初月給でアコーディオンを購入し、現在まで、時間を見つけては高齢者施設など訪問演奏のボランティアを行っています。「長年の活動で、利用者の年代も変わり様々なジャンルの音楽を勉強中です。誰でも楽しんでもらえるように、必死です！」

最後に、障害を持つ子ども達へのメッセージをお聞きました。「やりたいことは素直に大人にぶつけてください。自分の気持ちはとても大切です。また、ご両親は子どもの可能性を信じてサポートしてください。人間の可能性は計り知れません。」と笑顔でお答えいただきました。



今では健常者と組む「チーム小山」というバンドをはじめ4つの音楽グループ活動も行い、小山さんは、福祉団体の会歌の作曲などもしていらしゃいます。



今後の目標は、視覚障害者に特化した入居施設の立ち上げと、「音楽と福祉のコラボ」です。障害者への理解と啓発のために情報収集や講演活動も積極的に行っていきたいです。

NPO 法人光の会 (就労支援センターふたば)

〒 891-0114

鹿児島市小松原 1 丁目 4 番 15 号柳元ビル 1F

電話・FAX 099-814-7541



## ノーマライゼーションの取組 で利用者の社会参加を応援

社会福祉法人清流苑は、健康で生きがいを持ち、安心して生活できるよう、利用者の支援を行うとともに、生きる力を身につけ、自立することができるよう支援することを基本理念に、平成21年から出水市を中心に事業を行っています。「養護学校卒業後は、一般就労を目指しますが、よりスムーズに勤務できるよう、私達のような事業所で卒業後のフォローを行い、就労をサポートします。」とお話くださったのは、本部長兼シヨブコーチを勤める角智弘さんは、自立訓練（生活訓練）や就労継続支援（A・B型）の運営などを中心に、現在62名の利用者がいらっしゃいます。

清流苑では令和4年4月よりノーマライゼーション推進事業の一環として、『飲食マルシェ』をクレーンパークいずみで月に1回開催しています。コロナ禍で売上げの落ち込んだ出水市飲食業組合の活性化、利用者のコミュニケーション能力を育むこと、また障害者の方の受け入れ先の確保を目的に、協同運営しています。このノーマライゼーション

# 社会福祉法人 清流苑



一つ一つを丁寧に。飲食業組合の方と力を合わせ販売しています。



角さん「真面目で実直な彼らこそ、今の時代は表に出て行くべきだと考えます。彼らのエネルギーは必ずプラスになります。」

公園が隣接しているので、開店と同時に多くの子ども連れのお客様でにぎわいました。ノーマライゼーション…障害のある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしている社会を目指すこと。



「真面目で実直な彼らこそ、今の時代は表に出て行くべきだと考えます。彼らのエネルギーは必ずプラスになります。」

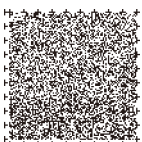
推進事業は、SDGsの到達目標の1つである『包括的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する』ことが根底にあります。「この事業が出水市内、広くは県内の企業の心に届き、障害者の企業への受け入れに貢献できることを目指しています。」と角さんは本事業の目標を説明してくださいました。

出店店舗は、お弁当やパン・スイーツなど様々で、店舗で商品を準備し、清流苑の利用者と共に販売を行います。出水市飲食業組合 迫田組合長は「皆、真面目で素直で仕事熱心なんです。働く姿を直に見て、この子たちと働きたい」と思ってもらい、就職に繋がる事が一番です。」とお答えくださいました。また清流苑利用者の西孝太郎さんは「まだ戸惑うこともありませんが、このマルシェを通して自立し、就労を目指していきます！」と今後の目標をお話いただきました。

元々コミュニケーションが苦手な利用者が、この事業を通し、多くの方々とふれあう機会が増えた事で、自身の意見を伝えることができるなど成果も出てきています。

今後は、出店する店舗数を拡大していく予定です。角さんは、「私たち社会福祉法人が地域に対してできること、それは小さなものかもしれませんが、それが、これを持続していくことで、必ず大きな実となることを信じて頑張りたいと思います。」と清流苑の利用者を温かい目で見守りながらお話しくださいました。飲食マルシェについては、清流苑のSNSや出水市の行政無線、ホームページでお知らせしています。

社会福祉法人清流苑（出水事業所）  
（紫尾の里・やはす園・一ツ葉・NEXTAGE）  
〒899-0217 鹿児島県出水市平和町477-2  
TEL：0996-63-8023 FAX：0996-68-5100  
HP：<https://seiryuen-honbu.jimdofree.com/>





リレーエッセイ

# ハードルを越えて

40

## 竹下 明希さん (鹿児島市)

アーチェリーを始めて4年目で「全国障害者スポーツ大会 とちぎ大会」に初選出されました。大会では、金メダルを獲得でき、また普段会えない全国の選手たちに会えたことも嬉しかったです。始めたきっかけは、ハートピアかごしまでアーチェリーをしているTV番組を見て興味を持ち、当時通っていた鹿児島

島養護学校の先生に勧めてもらいました。今は仕事の後や休みの日に、ハートピアかごしまで県パラアーチェリー協会の人々と練習しています。仲間と一緒に練習するのがとても楽しいです。毎回同じ打ち方をするのが難しいのですが、それでも真ん中の黄色の的に当てることができると練習の成果がでているんだなと実感できます。子供のころは、体が小さく入退院を繰り返し、体が弱い方だったと思います。歩けるようになったのも少し遅く3歳の頃だと聞いています。それでも体を動かすことは好きで、養護学校では放課後スポーツ活動に参加していました。アーチェリーは腕力が必要なので、ご飯もたくさん食べて体力を付け、ダンベルを使って筋トレにも励んでいます。

仕事は、「キッチンみらいず」というお店でお弁当作りから販売まで行っています。調理は自分の作りたいものを作ることができ、販売は店頭だけではなく鹿児島市役所での移動販売もしています。常連さんもいて、調理・接客どちらも楽しんで働くことができます。日常では補聴器を付けて声を聴きとっているんですが、後ろから声をかけられた時や、換気扇の音などで話しかけられたことに気づきにくいこともありました。働いているうちに環境にも慣れ、今は特に気にすることはありません。また、コロナ禍でマスクが当たり前になり、最初の頃は口元が見えず話が分かりにくいこともありましたが、こちらもだいたい慣れました。仕事も新しい生活環境も“慣れていく”ということが大切だなと思います。

今目標にしているのは、今年10月の「かごしま大会」で2大会連続の金メダル獲得です。前は目標としていた点数に届かなかったのですが、今回は600点以上の得点を出し、金メダルを獲りたいです！応援をお願いします。



いつも笑顔で頑張り屋だという竹下さん。「小さな体で毎日仕事も練習も頑張っている姿は素敵だなと思います。(キッチンみらいず代表 山下さん)」



キッチンみらいずでは、日替わりお惣菜とお弁当をまごころこめてお作りしています。手作りにこだわり、「毎日食べても毎日おいしい」を目指しています。



psso 社会福祉法人 慶生会

2023年10月

JR谷山駅横に

未来型地域交流センター

『LA+ (ラプラス)』

OPEN!!!

誰でも参加・おせひ・楽しむ・ほごせる

コンセプトは”ごちゃまぜの優しい1街”



TikTok



LINE



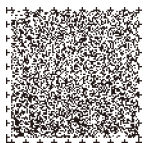
Instagram



Facebook

お問い合わせ 管理課：099-263-3665

広告





# KAGOSHIMA バリアフリー最前線 Barrier Free-Saizensen

鹿児島島のいろいろな建物や施設、あるいは人の心の中にあるバリアが取り払われています。一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。



お客様とよりコミュニケーションを取るため、手話トレーニングをおこなっています



災害・非常用階段避難車「イーバック+チェア」

災害時、歩行困難な方も階段を使用して、避難が可能



ユニバーサルルームには、手元の操作ボタンでリクライニング調整可能なベッドを設備

●今年で開業60周年を迎える「城山ホテル鹿児島」は、県内で初めて「観光施設における心のバリアフリー認定制度」に認定されました。この制度は、ソフト面のバリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組んでいる観光施設を対象に観光庁が認定する制度です。

城山ホテル鹿児島では、館内のバリアフリー化に取り組んでおり、スムーズに車椅子で移動できるほか、2室あるユニバーサルルームには、フラッシュランプを設置し、音の代わりに光で聴覚障害者をサポートしています。

また、宿泊者以外でも利用できる貸切温泉は、洗い場に手すりを

設置し、高齢者や足の不自由な方でも安心して利用でき、ご要望に応じてシャワーチェアの貸出もしています。さらにパブリックスペースの6ヶ所に「オールジェンダートイレ」を導入し、バリアフリーと多様なジェンダーへの配慮を持った設備となっています。

このほか、ホテル館内で従業員に車椅子体験や高齢者疑似体験などの研修を実施しており、SDGs推進室を中心に企業全体で「お客様の声」に寄り添ったホテル造りに取り組んでいます。

城山ホテル鹿児島は、これからも感謝と真心のおもてなしでお客様を迎え入れます。

## SHIROYAMA HOTEL kagoshima

城山ホテル鹿児島  
(鹿児島市)

鹿児島市新照院町 41 番 1 号  
TEL 0570-07-4680  
FAX 099-224-2222



※「観光施設における心のバリアフリー認定制度」による認定を、県内では、令和5年1月時点で、13宿泊施設、12飲食店、9観光案内所が受けています。認定施設や申請手続き等の詳細は、観光庁のホームページで御確認ください。

### ～心の輪を広げる体験作文～

#### ○内閣府佳作／小学生区分 鹿児島県最優秀賞／小学生部門

作品名「めざせ！世界福祉遺産」  
天城町立天城小学校 6年 初田 一心 (はつた いっしん) さん

#### ○鹿児島県最優秀賞／中学生部門

作品名「彼が変えてくれた世界観」  
鹿児島市立紫原中学校 3年 横峯 花音 (よこみね かのん) さん

#### ○鹿児島県最優秀賞／高校生・一般部門

作品名「壁のない社会へ」  
鹿児島県立鶴丸高等学校 1年 池山 七姫 (いけやま なな) さん  
※ 受賞者の写真は、「令和4年度鹿児島県障害者保健福祉大会」体験発表時のものです。



## 心の輪を広げる 障害者理解促進事業

障害の有無にかかわらず、誰もが地域や職場・学校などで共に支え合って暮らす共生社会の実現を目指し、障害のある人に対する理解促進を図るための「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」を、内閣府並びに都道府県及び指定都市の共催で、毎年度公募しています。

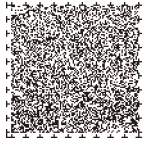
【問合せ先】鹿児島県くらし保健福祉部障害者支援室

TEL: 099-1286-2746

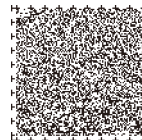
### ～障害者週間のポスター～

#### ○鹿児島県最優秀賞／小学生部門

作品名「みんなあなたの目(力)になるよ」  
伊佐市立大口小学校 5年 山元 晴 (やまもと はる) さん



# 鹿児島県からのお知らせ



## 毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日～8日は「発達障害啓発週間」です

自閉症をはじめとする発達障害の方は、他人の意図や感情を直感的に理解したり、言葉を適切に使うことなどが苦手な場合があります。学校や職場でさまざまな問題や困難に直面することがあります。

これらは、親のしつけや家庭環境が原因ではなく、脳機能の発達に関係するものです。発達障害は、見た目には障害があることがわかりにくいので、行動や態度が誤解されることがあります。

発達障害の特徴を知り、正しく理解していただくことが大切です。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。

問い合わせ先：県庁障害福祉課 電話 099-286-2744 FAX 099-286-5558

## 「身体障害者補助犬」への理解を深めましょう

補助犬とは、目や耳、手足に障害のある方をサポートする盲導犬、聴導犬、介助犬のことで、障害のある方が自立と社会参加をするための大切なパートナーです。

補助犬は「身体障害者補助犬法」に基づき訓練・認定されており、ユーザーは衛生・行動管理に責任を持っています。

事業者の方々においては、店舗やホテル等への補助犬の同伴にご理解をお願いします。

また、補助犬を同伴している方がお困りのようであれば、まずはお声がけや筆談などの配慮をお願いします。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。



## ヘルプマーク・ヘルプカードをご存知ですか

県では、義足を使用している方や、内部障害、難病の方など、外見から援助等が必要なことが分からない方々を対象に、「ストラップ型のヘルプマーク」、「ヘルプカード」を配布しています。

ヘルプマーク・ヘルプカードを持っている方がお困りのようであれば、「どうしましたか?」、「何かお困りですか?」と声をかけていただき、できる範囲での手助けをお願いします。

マーク及びカードの配布は、お住まいの市町村のほか、県庁障害者支援室、地域振興局・支庁、ハートピアかごしまにて行っています。また、郵送での配布も行っておりますので、詳しくは県のホームページをご覧ください。県庁障害者支援室までお問い合わせください。



## 鹿児島県身障者用駐車場利用証制度（パーキングパーミット制度）について

右の表示のある身障者用駐車場は、県の発行した利用証（基準に該当する方に交付されます。）がないと使用することができません。

車の乗り降りのためにドアを全開にしなければならない方、歩行困難によりできるだけ建物に近い位置に駐車が必要としている方など、この駐車スペースを必要としている方が利用できるよう鹿児島県身障者用駐車場利用証制度への協力・理解をお願いします。

本制度の対象となる方で利用証をお持ちでない方は最寄りの窓口（県庁障害者支援室、地域振興局・支庁・事務所、ハートピアかごしま）で申請くださるようお願いいたします。詳しくは県ホームページをご覧ください。



問い合わせ先：県庁障害福祉課障害者支援室 電話 099-286-2746 FAX 099-286-5558



[感想をお寄せください]

鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課障害者支援室

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL.099-286-2111(内線2746) FAX. 099-286-5558

Vol.45 令和5年3月31日発行

[E-mail]shougai@pref.kagoshima.lg.jp

[URL]http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/syogai-syakai/machi/index.html

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へ御連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視聴覚障害者情報センター(鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896)に備え付けてあります。

### [SPコード]について

ページの隅に置かれている、四角い黒い点々を[SPコード](音声コード)といいます。この18ミリ四方の一つのSPコードの中に、日本語で約800字のテキスト情報を格納することができ、専用の読み取り機でSPコードを読み込むと、そのページの内容を音声で読み上げることができます。なお、視覚に障害のある方にもSPコードの位置が分かるように、ページの縁に切り込みを入れています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています